



平成29年度 秋田市元気な子どものまちづくり 認定企業を募集します

この制度は、「仕事と子育ての両立支援」や「子育てにやさしい活動」に取り組む企業を認定・表彰し、子育てを社会全体で支える気運を高め、誰もが仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)をとりながら、希望にそった働き方ができる社会づくりをめざすものです。

※平成28年度に創設した制度で、今年度が2年目となります。

1 対象

秋田市内に本店・支店・事業所等がある企業
(公益法人、NPO法人、個人事業主等を含みます。)

2 認定方法

企業の取組が「[秋田市元気な子どものまちづくり企業認定基準](#)」(裏面を参照)の各中項目の取組1つ以上に該当し、その合計点が5点以上である企業を、事業所単位(例:〇〇株式会社〇〇支店)で認定します。

なお、認定企業には、認定証と認定マークがついたステッカーを交付します。

◆募集期間:4月4日から3月31日まで

※ただし29年度表彰対象は、4月4日から8月31日までに申請された企業となります。

◆提出書類:認定申請書(ホームページからダウンロードできます)および関係書類等

◆認定期間:5年間(更新可能)

3 表彰

認定企業のうち、特に優れた取組をしている企業について、「秋田市元気な子どものまちづくり企業認定・表彰制度」表彰企業選考委員会の審査により決定します。

4 秋田市元気な子どものまちづくり認定企業表彰式

11月20日から11月26日を「秋田市ワーク・ライフ・バランス推進週間」と定め、推進週間に認定表彰式を実施する予定です。

【お問い合わせ・申込先】

秋田市子ども未来部
子ども総務課 総務担当
〒010-8560
秋田市山王一丁目1番1号
☎018-888-5687
Email: ro-chbs@city.akita.akita.jp



※仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業の実態調査を行っています。

市が委託している社会保険労務士が、事業所等にお伺いする場合がありますのでご協力をお願いします。

秋田市元気な子どものまちづくり企業認定基準

取組項目		配点	添付資料等
■仕事と子育ての両立支援の取組(大項目)			
○休暇に関する取組(中項目)ー(認定の視点)仕事を子育ての両立支援制度の定着を図るもの			
1	男性従業員の育児休業について、過去3年間に取得例がある	2	□取得していることがわかるもの(資料等)
2	女性従業員の育児休業について、過去3年間に8割以上が取得している	2	□取得していることがわかるもの(資料等)
3	結婚のための休暇制度がある 例:結婚休暇、婚活休暇 □制度がある □過去3年間に取得例がある	1項目につき 制度あり 1 取得例あり 2	□制度があることおよび取得していることがわかるもの(資料、写真等)
4	従業員(または配偶者)が妊娠中に取得できる休暇制度がある 例:妊婦健診休暇、つわり休暇など □制度がある □過去3年間に取得例がある	1項目につき 制度あり 1 取得例あり 2	□制度があることおよび取得していることがわかるもの(資料等)
5	子育てのための休暇制度がある 例:子の看護休暇、PTA休暇など □制度がある □過去3年間に取得例がある	1項目につき 制度あり 1 取得例あり 2	□制度があることおよび取得していることがわかるもの(資料等)
○働き方改革につながる取組(中項目)ー(認定の視点)職場環境の整備を図るもの			
1	就業規則を作成している □従業員10人以上 □従業員9人以下	10人以上 1 9人以下 2	□就業規則の写し (従業員10人以上の企業に作成義務あり)
2	一般事業主行動計画を策定している □従業員101人以上 □従業員100人以下	101人以上 1 100人以下 2	□次世代育成支援対策法に基づく一般事業主行動計画の写し (従業員101人以上の企業に策定義務あり)
3	厚生労働省のくるみん、プラチナくるみん認定を受けている	1	□認定証の写し
4	短時間労働やフレックスタイムなど多様な働き方を認めている □制度がある □過去3年間に実施例がある	1項目につき 制度あり 1 実施例あり 2	□制度があることおよび実施していることがわかるもの(資料等)
5	超過勤務時間や休日、夜間勤務縮減の取組を行っている 例:ノー残業デーの実施など	2	□実施していることがわかるもの(資料、写真等)
○その他両立支援に係る独自の取組(中項目)			
1	結婚祝金・出産祝金がある	1	□制度があることおよび実施していることがわかるもの(資料、写真等)
2	事業所内保育所、託児所がある	2	□実施していることがわかるもの(資料、写真等)
3	管理職がイクボス宣言をしている	2	□イクボス宣言書の写し (原本は社内掲示)
4	子連れ出勤を認めている □制度がある □過去3年間に実施例がある	制度あり 1 実施例あり 2	□制度があることおよび実施していることがわかるもの(資料、写真等)
5	孫を看るための看護休暇・育児休業制度等がある	2	□制度があることおよび実施していることがわかるもの(資料、写真等)
6	上記以外の独自の取組がある	1項目につき 2	□制度があることおよび実施していることがわかるもの(資料、写真等)
■子育てにやさしい取組(大項目)			
○地域における子育て支援の取組(中項目)ー(認定の視点)社会全体で子育てを支援するもの			
1	秋田市子育てにやさしい施設に認定されている	1	不要
2	子育て家庭を対象としたサービス・イベント等を実施している 例:あきた子育てふれあいカードに協賛している	1項目につき 1	□取組内容がわかるもの(資料、写真等)
3	子どものための社会貢献活動をしている 例:奉仕活動、寄附活動	1項目につき 1	□取組内容がわかるもの(資料、写真等)
4	子どもの職場見学や職業体験などを行っている	1項目につき 1	□取組内容がわかるもの(資料、写真等)
5	上記以外の独自の取組がある	1項目につき 1	□取組内容がわかるもの(資料、写真等)
合計			

※認定は、各中項目の取組項目1つ以上に該当し、その合計点が5点以上の場合に認定の対象となります。



秋田市元気な子どもの
まちづくり企業

平成28年度 秋田市元気な子どものまちづくり 認定企業一覧

(五十音順、51社166事業所)

秋田市では、平成28年度から「秋田市元気な子どものまちづくり企業認定・表彰制度」を創設し、「仕事と子育ての両立支援」や「子育てにやさしい活動」に取り組む企業を認定しています。

平成28年度は、51社166事業所を認定しました。



最優秀賞・特別賞の企業の皆様

No.	企業名
1	社会福祉法人 愛心会
2	秋田印刷製本 株式会社
3	有限会社 秋田温泉ホテル
4	秋田活版印刷 株式会社
5	株式会社 秋田銀行 本店営業部ほか29事業所 最優秀賞
6	株式会社 秋田ケーブルテレビ 特別賞
7	社会福祉法人 秋田けやき会
8	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
9	秋田県信用組合 本部ほか5事業所 特別賞
10	合同会社 あきたこまちネット
11	社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会
12	秋田信用金庫 本店ほか10事業所
13	株式会社 秋田スズキ 本店ほか1事業所
14	有限会社 秋田店舗企画
15	秋田トヨペット 株式会社 本部ほか4事業所
16	株式会社 秋田ペット霊園葬儀センター
17	秋田舗道 株式会社
18	社会福祉法人 いずみ会 リンデンバウムいずみほか1事業所
19	株式会社 一ノ関時計店 広面本店ほか1事業所
20	伊藤工業 株式会社 特別賞
21	羽後設備 株式会社
22	医療法人 運忠会 土崎病院ほか5事業所
23	司法書士法人 岡田事務所
24	北日本コンピューターサービス株式会社
25	医療法人 久盛会 秋田緑ヶ丘病院
26	医療法人 久盛会 介護老人保健施設 三楽園
27	医療法人 杏仁会 御所野ひかりクリニック 特別賞

No.	企業名
28	有限会社 県庁食堂 レストラン ユースパル
29	特定非営利活動法人 子育て・高齢者介護サポートばっけの会
30	猿田興業 株式会社
31	医療法人 三愛会 秋田東病院
32	医療法人 三愛会 お肌のクリニック
33	医療法人 三愛会 こころのクリニック
34	有限会社 セーフティ保険コンサルティング
35	損害保険ジャパン日本興亜 株式会社 秋田支店
36	太平山三吉神社
37	株式会社 タカヤナギ グランマート泉店ほか2事業所
38	トヨタカローラ秋田 株式会社 本部ほか5事業所
39	株式会社 ナイス 本部ほか7事業所
40	株式会社 日情秋田システムズ
41	日本電機興業 株式会社
42	農林中央金庫 秋田支店
43	社会福祉法人 はまなす会 特別養護老人ホームめぐもり山王 ほか7事業所
44	有限会社 フレンズ
45	株式会社 北都銀行 本店営業部ほか28事業所 最優秀賞
46	マックスバリュ東北 株式会社 本社ほか5事業所 最優秀賞
47	社会福祉法人 滯標会 かんば保育園
48	株式会社 むつみワールド
49	社会福祉法人 遊心苑
50	社会福祉法人 雄仁会 あおぞら幼保連携型こども園ほか5事業所
51	社会福祉法人 緑光苑

平成28年度秋田市元気な子どものまちづくり 認定企業表彰式を開催しました！

平成28年11月22日 秋田市役所正庁

(朝日新聞 H28.11.23)

子育てしやすい51社を認定

秋田市は22日、子育てにやさしい企業に同市内の51社・166事業所を認定した。秋田銀行、北都銀行、マックスバリュ東北の3社が最優秀賞に選ばれた。同市は人口減少対策には若者が働きやすい環境が不可欠としており、穂積市長もこの日、部下の仕事や生活を支援し、自身も仕事と生活を楽しくむすむ「イクボス」をめざす「イクボス宣言」をして、子育て支援の普及に力を入れる。

秋田市 市長も「イクボス宣言」

同市が今年度始めた「元気な子ども」のまちづくり企業認定・表彰制度。最優秀賞の北都銀行は昨年2月、「イクボス企業同盟」に全国の地方銀行で初めて参加。育児休業取得率100%をめざし、男性従業員現在の対象者20人のうち19人が取得している。

同市によると、市長のイクボス宣言は、県内では6月の男鹿、9月の湯沢の両市長に次いで3人目。穂積市長は「若い世代に温かく切れ目のない支援に努め、「イクボス」が市全体に広がるよう全力で取り組む」と宣言。同市は今年度、部長・次長向けにイクボス宣言をめざす研修会を開くほか、来年度は市内の企業にも取り組みを広げていきたいとしている。

同市子ども総務課の嶋久美子課長は「市内の若い女性は就職で県外へ出てしまう傾向が強い。企業の取り組みを市民や学生に知ってもらって企業側の励みにもなれば」と話していた。(金井信徳)



▲表彰企業への表彰状授与
(最優秀賞3社、特別賞4社)



▲厚労省「イクボスアワード
2015」グランプリ受賞
阿部 和美氏による講演
(株丸井取締役
マルイファミリー溝口店長)
(アサヒ H28.11.23)



職員の子育て 仕事と両立を 市長が「イクボス」宣言



「子育て応援リーダー宣言」を読み上げる穂積市長

積極支援の企業認定も

この日、従業員の仕事を子でいる企業に贈る「秋田市元気づけ」の両立を積極的に支援し、気な子どものまちづくり認定

秋田市の穂積市長は22日、部下が育児と仕事を両立できよう配慮し、業績も上げると「イクボス」を自指す子育て応援リーダー宣言「秋田市版イクボス宣言」をした。同市にまると、県内町村長のイクボス宣言は男鹿市と湯沢市に次いで3例目。

企業への表彰式が市役所正庁で開かれ、穂積市長が「市長一人一人が生き生きと仕事と生活を両立するよう、ワークライフバランスの推進に努め、自らも仕事、生活を大切にしたい」と宣言した。

宣言を受け、市子ども総務課の嶋久美子課長は「今後、市長以外の市幹部にも子育て応援リーダー宣言を促したりすること、認定企業を増やしたりすること、若い世代の子育てを支援する環境を市全体に広げたい」と話した。

認定は本年度始まった制度。表彰式では、認定を受けた51企業のうち、秋田銀行、マックスバリュ東北を表彰した。(菊地隆秀)



▲市長による「子育て応援リーダー宣言～秋田市版イクボス宣言～」

◀元気な子どものまちづくり認定企業紹介パネル展

※「秋田市ワーク・ライフ・バランス推進週間」(11月20日～26日)に市役所1階市民ホールにて実施